

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	3年度
事業名	松くい虫防除事業費	担当課	産業観光課
事業内容(簡潔に)	松くい被害木の調査・伐採・処理		

### 1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	魅力あふれるまちづくり
	政策	環境と調和した農林業の振興
	施策	農林業の振興
関連する個別計画等		根拠条例等

### 2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	保全すべき松林を中心に松くい虫被害木を調査し、その状況を把握する。調査に基づき被害木の伐採・薬剤処理を行い、被害木の増加を抑え健全な松林を維持する。
事業の手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区及び市民の現況報告を参考に、松くい虫の被害木調査を行う。</li> <li>・ 調査後、公益的見地から判断し、森林の計画区分に応じて、伐採を行う。</li> <li>・ 伐採した被害木に薬剤処理、くん蒸処理及び枯損木処理を行い被害の拡大を防ぐ。</li> </ul>
事業の対象	森林病害虫防除法に基づく市内の松林。

### 3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		30年度	元年度	2年度
財源内訳	A 事業費 (千円)	23,466	22,865	30,808
	国・県支出金	15,084	14,867	20,451
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源	8,382	7,998	10,357
B 担当職員数(職員E) (人)	0.10	0.10	0.10	
C 人件費(平均人件費×E) (千円)	687	672	658	
D 総事業費(A+C) (千円)	24,153	23,537	31,466	
主な事業費用の説明	業務委託費・調査費用、伐採費用、薬剤等による処理費用 令和2年度については、事業の必要性から単価の高いくん蒸処理の処理面積が増加した。			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した30年度(6,862千円)、元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)を使用しています。

### 4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			30年度	元年度	2年度
活動指標	1 松くい虫倒木調査本数	調査本数(本)	1,141	808	1,179
	2 松くい虫被害木調査材積	(㎡)	1,075	813	1,149
		内訳 薬剤処理材積	713	0	302
くん蒸処理材積		299	665	716	
枯損木処理材積		63	148	131	
3					
妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	被害木の増加を抑え健全な松林を維持するために妥当である。			
	2				
	3				

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			30年度	元年度	2年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	松くい虫被害木防除処理率 (%) (処理本数/調査本数)	100 (1,141/1,141)	100 (808/808)	100 (1,179/1,179)
	2	松くい虫被害木処理材積率 (%) 薬剤処理材積 くん蒸処理材積	100	100	100
	3				
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と 成果の内容説明	1	対象木はすべて伐採を行っており成果は十分である。			
	2	伐採した対象木はすべて薬剤等を行っており成果は十分である。			
	3				

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大 (コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 (事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善 (内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小 (規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止 (廃止の検討が必要)			
事務事業の改善案	改善の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)			
	令和3年度の改善計画 (今後の事業展開説明) 依頼のあった松や、松くい被害による倒木処理のみではなく道路際や公共性の高い区域では、事前に枯れた松を伐採することで、倒木等による被害を事前に防ぐ。			
過去の改善経過	改善の経過			
	直近の評価結果	内部評価	令和元年度	<input type="checkbox"/> 拡大      - <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
		外部評価	年度	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
改善案	依頼のあった松や、松くい被害による倒木処理のみではなく道路際や公共性の高い区域では、事前に枯れた松を伐採することで、倒木等による被害を事前に防ぐ。			
課長所見	市内の松くいの被害は広範囲に広がっており、事業の継続は被害を防ぐ上で有効である。また、優先する処理区域の選定も重要であると考え。			